

安全パトロール現場レポート

【はじめに】

鹿島港湾・空港整備事務所では月に一度、工事現場の安全パトロールを行っています。これは工事現場を事務所職員が抜き打ちで現場に出向き、常日頃より安全管理が図られているか、直接現場を点検し、改善点などを指摘することで、労務災害を未然に防ぐ目的で行われています。

【安全パトロールの実施】

◇実施日時：< 6 月 1 0 日(水) 9 : 00 ~ 11 : 00 >

◇対象工事：①外港地区中央防波堤付属施設消波工事

< 工事概要 >

外港地区中央防波堤の消波ブロックを製作する工事。

(製作個数 592 個中、現在 177 個製作済み)

この工事は鹿島港の長周期波対策として、防波堤に設置する消波ブロックを作る工事です。消波ブロックとは波のエネルギーを消散させるブロックのことで「波消しブロック」とも呼ばれます。

②鹿島港外港地区南防波堤災害復旧工事

< 工事概要 >

鹿島港外港地区南防波堤の基礎工、本体工、被覆・根固工及び上部工を施工する災害復旧工事です。

この工事は台風で災害を受けた南防波堤のケーソンの一部を復旧させる工事です。

今回は対象工事の現場をそれぞれパトロールしました。

現場に到着すると、現場代理人から工事状況や当日の作業内容などについての説明を受けました。その後、各自が「現場安全点検表」を元にして、現場の安全体制についてチェックしました。

現場では、「作業中の不安全行動はないか」、「作業通路が確保されているか」、「足元に転倒の元となる危ないものはないか」、「熱中症対策はされているか」などの基本的なことや、平成 27 年度事故防止に係る重要事項を重点においてパトロールしました。

今回の不備を指摘して改善を図るよう指導して安全パトロールは無事終わりました。

【所感】

作業の慣れによって発生する危険は、時として第三者でないと気付かない場合があります。そのような危険を未然に防ぐためにも、このような安全パトロールを定期的に行っていく必要があると考えます。作業を行う人の毎日の点検や注意はもちろんですが、安全パトロールを実施することで、さらなる安全な作業を進め、無事故・無災害で工事を完了させるよう、これからも安全パトロールを続けていきます。

【写真：各現場をチェックしている様子】

写真①鹿島港外港地区南防波堤災害復旧工事現場にて。

写真はコンクリートのケーソンに組み込む鉄筋の加工場をチェックしているところです。

写真②鹿島港外港地区中央防波堤付属施設消波工事現場にて。

写真は消波ブロックの型枠をクレーン車にて脱型作業しているところを確認しています。

写真③鹿島港外港地区中央防波堤付属施設消波工事現場にて。

工事現場の詰所のチェックをしています。写真は詰所に掲載されている安全掲示板を確認している様子です。

